

令和3年度
探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業

研究・実践の中間報告


令和4年2月18日(金)
北広島町立芸北中学校区研究推進地域

【報告の流れ】

- I 研究について
- II 今年度の取組
- III 成果と今後に向けて

I 研究について

1 主題設定の理由(昨年度までの実践の課題)

- 
- ① 単元のゴール設定が教師主導
→ 児童・生徒の課題意識や必要感を引き出しきれていない
 - ② H29作成「身に付けさせたい資質・能力の系統表」
→ 現在の児童・生徒実態に合っているのか!?
 - ③ 指導者の主観に頼る評価
→ 客観的に評価することができる指標が必要

I 研究について

2 研究主題

児童・生徒自らが探究する生活科・総合的な学習の時間の創造

～身に付けさせたい資質・能力の系統表の作成と

ルーブリックによる評価を通して～

3 研究内容

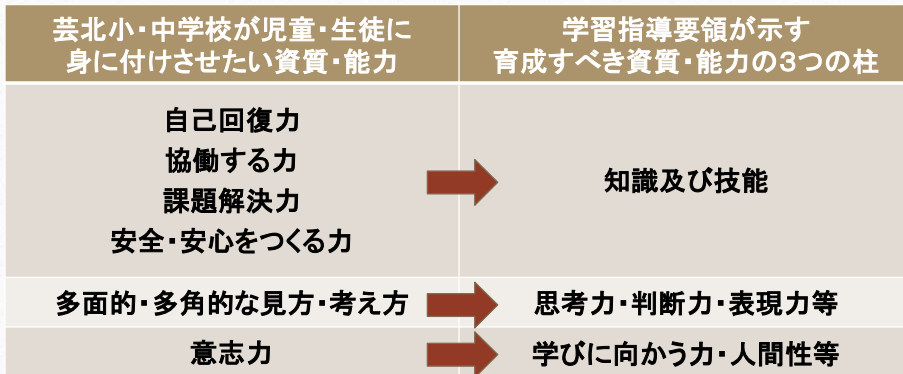
- ① 児童・生徒に身に付けさせたい資質・能力の再検討
(系統表の作成)
- ② 評価の在り方の研究(ルーブリックの作成)
- ③ 児童・生徒が自ら探究したくなるような生活科・
総合的な学習の時間の単元開発・授業改善



II 今年度の取組

① 児童・生徒に身に付けさせたい資質・能力の再検討

●資質・能力の整理



●系統表と全体計画の修正

II 今年度の取組

② 評価の在り方の研究(ルーブリックの作成)

小・中合同研修(西部教育事務所芸北支所教育コンサルティング)



振り返りを書かせることの大切さ
⇒書く力をつける

Ⅱ 今年度の取組 ② 評価の在り方の研究(ルーブリックの作成)

芸北中学校

中3総合「芸北マルシェ」

ルーブリック(第2案)

「思考・判断・表現(多面的・多角的な見方・考え方)」を評価するルーブリック(R3年度 第3案)
北広島町立芸北中学校

	レベル1	レベル2	レベル3
能力記述文	<p>○活動を通し、内容(=活動したこと)の振り返りができている。(例:～ができた。できなかった。)</p> <p>○自らの意見を中心に考えようとしている。</p>	<p>○活動を通し、様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分との比較をしたり、他者との比較をすることで、自己の成長や課題に気づくことができている。</p> <p>○他のメンバーとコミュニケーションをとりながらアイデアを出し、前向きに物事を捉え、進めようとしている。</p>	<p>○活動を通し、様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分との比較をしたり、他者との比較をすることで、自己の成長や課題に気づき、視点を柔軟に転換することで、これからの生活に役立てようとしている。</p> <p>○他のメンバーとコミュニケーションをとりながらアイデアを出し、具体的な案を提案し行動しようとしている。</p>

Ⅱ 今年度の取組 ② 評価の在り方の研究(ルーブリックの作成)

芸北小学校

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北?～」

	目標・能力	C	B	A
知識・技能	自己調整力	ストレスを感じるとやる気を失い、自分なりの方法で学習意欲を回復できていない。	ストレスを感じても前向きに考え、自分なりの方法で学習意欲を回復している。	あらゆる場面においてストレスを感じても前向きに考え、多面的・多角的に考えた方法で学習意欲を回復している。
	協働する力	課題解決に向けての自分の役割がわからず、他者の協力を得ることができていない。	課題解決に向けての自分の役割を理解し、他者の合意を得て、協力を得ながら活動を進めている。	課題解決に向けての自分の役割を理解し、他者の合意を得て、リーダーシップを取りながら活動を進めている。
	課題解決力	画北の活性化に向けて、課題解決の過程(課題の設定、情報の収集、整理・分類、まとめ・表現)を適用させながら課題を解決できていない。	画北の活性化に向けて、課題解決の過程(課題の設定、情報の収集、整理・分類、まとめ・表現)を適用させながら課題を解決している。	画北の活性化に向けて、課題解決の過程(課題の設定、情報の収集、整理・分類、まとめ・表現)を、より効果的に適用させながら課題を解決している。
	習熟・安心をつくる力	インターネット利用や情報発信の関に危険を察し方法を理解していない。	インターネット利用や情報発信の関に危険を察し方法を理解している。	インターネット利用や情報発信の関に危険を察し方法を理解し、安全に利用している。
思考・判断	多面的・多角的な見方・考え方	視点や尺度、発想等を転換しなから人や物事を柔軟に捉えることができていない。	視点や尺度、発想等を転換しなから人や物事を柔軟に捉えている。	視点や尺度、発想等を転換しなから人や物事を柔軟に捉え、その考えの良さや自分の言葉で説明している。
	探究力	「必ず自分」や学習のためである考え、計画に自ずから、人任せな行動をしている。	「必ず自分」や学習のためである考え、計画に自ずから、意図的に行動している。	「必ず自分」や学習のためである考え、試行錯誤しながらよりよい方法を開く。他者と協力して、実行に移している。
学び続ける力	探究力	振り返りが単なる形骸で終わり、現状の把握や計画の修正ができていない。	現時点の課題を振り返り、遠隔でも丸く理由や修正点に気が付き、次につながる行動を考へることが出来る。	現時点までの過程を振り返り振り返りを行うことができ、さらに他を見つけた改善案を考へて計画を修正することができる。

II 今年度の取組

③ 児童・生徒が自ら探究したくなるような生活科・
総合的な学習の時間の単元開発・授業改善
芸北小中学校「学びのスタイル」



II 今年度の取組

③ 児童・生徒が自ら探究したくなるような生活科・
総合的な学習の時間の単元開発・授業改善

えがく

めざす自分

作戦

さまたげ

<p>（ことば、行動）</p> <p>疑問をぶくぶくした。課題解決力</p> <p>ふたつあてた。しつかりと活動家連携</p> <p>あふれだす。意見が広がる。</p> <p>人の意見とぶつかり。自分の意見が広がる。</p> <p>ふたつあてた。実践が成功の秘訣。</p> <p>意見を出して学ぶ。自信が一つ。</p>

II 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

《活動の概要》 芸北のために自分たちにできることを考えて実行する。

- 1節 芸北で暮らす人々の思いや願いを知ろう。
- 2節 芸北をより良くするためのプロジェクトを考え、提案しよう。
- 3節 プロジェクトを実行して、より良い芸北の未来につなげよう。

「本音的な問い」(「カリキュラムを構築する段階の3つの問い」の考え方を参考に、「本音を知る問い」を立てて、皆さんから集める準備をしましょう。)

1. 本音的な問い (何にも問われず答えが更新され続ける「問い」)

Q: 10年後も住みたいと思うのは、どんな芸北だろう?
A: 自然と共存しながら、人とのつながりを大切にして、自分が幸せだと思う暮らしができる芸北。

2. 単元を深く問い (単元を深めて考え深めていく「問い」)

芸北をより良くするために、自分たちにできることは何だろう。

3. 個別の問い (単元を構築する授業内で画に打てる知識・経験等)

単元計画の
活動を立てる

第1節 芸北で暮らす人々の思いや願いを知る。
第2節 芸北をより良くするために考えた方法を提案する。
第3節 考えた方法を実行する。

II 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

1節 芸北で暮らす人々の思いや願いを知ろう。

地域の方にアンケート調査

341名からの回答
(芸北在住213名)

整理・分析

アンケート用紙の
QRコードを読み取り、
グーグルフォーム
からも回答可



II 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

地域で活躍されている方々の話



「便利」も豊かさだけど、芸北での生活の中にある「おいしい」「楽しい」等も豊かさだと思います。



様々な考えの人がいるので、すり合わせるのが難しいです。目的を確かめることや、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を聞いたりすることを大切にしています。

芸北の食材で「イタリアン精進料理」

着物を「もんぺ」にリメイク

II 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

2節 芸北をより良くするためにプロジェクトを考え、提案しよう。

★プロジェクト名「芸北未来プロジェクト」★

ゲストティーチャーに相談

アドバイスを参考に工夫・改善



空き教室をコワーキングスペースにする。



考えたことはクロームブックでまとめる。

II 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

リハーサル



他チームの良い点や
改善点を意見交流

ゲストティーチャーさんからもアドバイス



II 今年度の取組

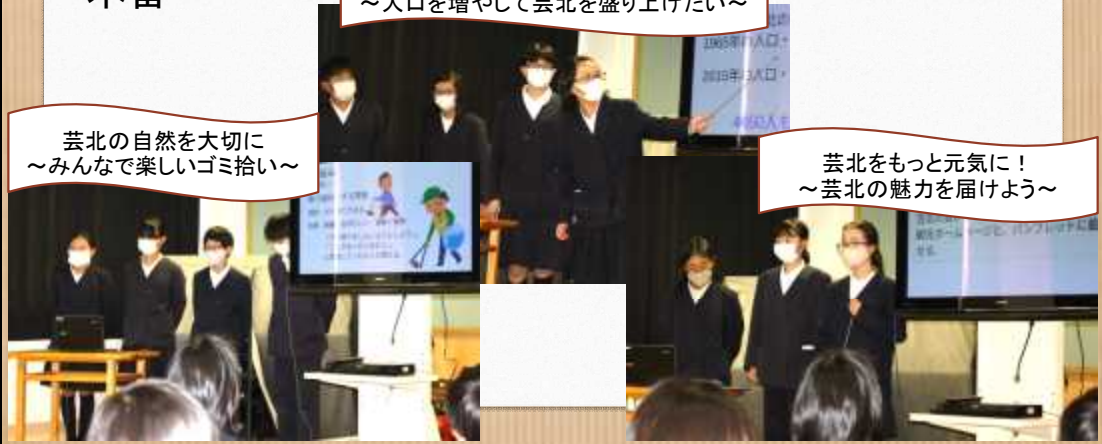
小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

本番

芸北の良い所を知ってもらおう
～人口を増やして芸北を盛り上げたい～

芸北の自然を大切に
～みんなで楽しいゴミ拾い～

芸北をもっと元気に!
～芸北の魅力を届けよう～



II 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

3節 プロジェクトを実行して、より良い芸北の未来につなげよう。

ゴミ退治

ゴミを一番多く拾ったチームを表彰



参加賞もプレゼント



II 今年度の取組

小6総合「芸北での学びを生かして ～Youは何する芸北で?～」

プロジェクトの結果を地域全戸に配布



【児童の振り返り】

○「どうすれば(プロジェクトを)楽しく出来るのか」「(提案を)分かりやすくできるのか」など、友達と意見を出し合ったり、分担して計画したりすることができた。また、同じチームの人の意見もだんだん取り入れられるようになった。(協働する力)

○「なぜうまくいかないのか」と問題点を考えて、次は「どうやったらうまくいくか」を考えて実行することができた。(課題解決力)

○この力は、プロジェクトを一つにしぼる時に使ってたくさん成長できたと思う。買う人になったりやる人になったりしてたくさん考えたり質問したりすることができた。(多面的・多角的な見方・考え方)

II 今年度の取組

中3総合「芸北マルシェ」

《活動の概要》 芸北の資源を使ってものづくり

1. 芸北の良さ, 課題について考える。
(芸北地域の将来の人口など)
2. 芸北の資源について学ぶ(外部講師の方を招聘)
3. 商品開発 等
4. モニタリング
5. 商品販売(道の駅)
6. 振り返り

えがく

やってみる

ふりかえる

II 今年度の取組

中3総合「芸北マルシェ」

1. 芸北の良さ, 課題について考える。(芸北地域の将来の人口など)
Qなぜ, 芸北マルシェをするのか。

芸北の良いところと課題

《課題》
若者が少ない



《良いところ》
自然豊か

II 今年度の取組

中3総合「芸北マルシェ」

2. 芸北の資源について学ぶ

外部講師として地元の方に来校していただく



芸北の資源についての講義



新たな視点・新たな選択肢

- 自分たちで材料を集め商品を作る。
- 既存の材料を取り寄せ、商品を作る。
- 加工・販売されているものを、さらに価値つけて販売する。

II 今年度の取組

中3総合「芸北マルシェ」

3. 商品開発 等



ハーバリウムを作りたい。
オイルにカビが生えてしま
うのはどうすれば予防でき
るかな。



4. モニタリング

地元の診療所での
モニタリング



II 今年度の取組

中3総合「芸北マルシェ」

5. 商品販売(道の駅)



6. 振り返り

(生徒のワークシートより)

○私の目指す自分の姿は課題解決力でした。始めたときに売れなかったときは焦ったが、値段設定を工夫したらお客さんが来るのではと思いつき、実行することができた。

○販売の日、お客さんが一度にたくさん来たときの対応の仕方を考えてなかったのも、同じ会社のメンバーと、色々な状況を話し合っておけばよかった。

III 成果と今後に向けて

1 成果

- 「身に付けさせたい6つの資質・能力」を「3つの柱」に整理
 - 目標設定や評価が行いやすくなった
 - 資質・能力の系統表と「総合」の全体計画も修正
- ルーブリックによる評価について研修
 - ルーブリック(試案)を作成
- 単元開発または既存単元のブラッシュアップ
 - 探究的な学習の在り方についての理解を深めた

Ⅲ 成果と今後に向けて

2 今後に向けて

- 「身に付けさせたい資質・能力」と「資質・能力の系統表」の修正を継続
- ルーブリックの作成→ルーブリックによる評価→修正
- 児童・生徒が自ら探究する学びとなるような指導の在り方を研究
→新規単元・既存単元のブラッシュアップ



ご清聴ありがとうございました